

主要事業マネジメントシート

部局名

事業名	水素関連ビジネス創出基盤形成事業 / 担当室課 成長産業振興室新エネルギー産業課				
予算額	H24 ー 千円(ー 千円)	H26 ー 千円(ー 千円)	実績	H24 ー 千円(ー 千円)	H25 ー 千円(ー 千円)
	H25 ー 千円(ー 千円)	H27要求 6,915 千円(6,915 千円)		H25 ー 千円(ー 千円)	
事業の優先性	<input checked="" type="checkbox"/> 重点課題【知事重点分野】(項目名: 成長に向けたビジネス環境の整備) <input type="checkbox"/> 人口減少関係 (項目名:) <input checked="" type="checkbox"/> 成長戦略 (項目名: 強みを活かす産業・技術の強化) <input type="checkbox"/> 新・地震防災アクションプラン (項目名:) <input type="checkbox"/> その他 (項目名:)				
事業選択	役割分担	民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 民間では実施不可(行政がすべき役割) <input type="checkbox"/> 民間で実施するためのインセンティブとして実施 <input type="checkbox"/> その他 (理由) 水素の性質や安全な取扱いに関する府民全体の理解向上は府の責務 ※水素ステーション設置に際する周辺住民への説明は設置事業者において実施	行政としての役割	<input checked="" type="checkbox"/> 府の役割 <input type="checkbox"/> 国の役割 <input type="checkbox"/> 市町村の役割 (理由) これからの発展が期待される水素関連産業について、関係企業の参画のもと産業振興の課題を整理し道筋を示すための場を設けるのは府の役割
	事業手法	手法の妥当性	水素小売事業への参入促進や様々な分野での水素需要の創出など、水素関連産業の振興には、大阪の強みを活かしたビジネス創出への道筋をつける必要がある。また、水素ステーションをはじめ水素関連ビジネスの拡大のためには、水素の性質や安全な取り扱いなど社会的受容性の向上が必要不可欠。		
		受益と負担	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり(内容・水準:) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない(理由:) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担になじまない(理由: 本事業の実施による具体的な受益が確約されているものではない)		
		将来のリスク管理	3年間のサンセット事業(状況を見て必要性を議論)		
	事業間調整	庁内での連携	政策企画部戦略事業室と、水素ステーション整備に向けた新たな仕組みの検討について連携。環境農林水産部環境管理室交通環境課とFCバス導入促進について連携。		
	他事業との整合性等	他事業との重複は特になし。			
事業効果	目標・指標	(事業目標) FCバスやFCフォークリフトなど水素関連ビジネスの拡大に向けた検討を行うことで、燃料電池や水素ステーションに高度な技術をもつ企業が集積する大阪の潜在力を引き出し、水素関連産業の振興を図る。 (指標) ・水素関連ビジネス創出件数 2件以上(H29まで) ・FCV公用車の率先導入 2台 ・水素の社会受容性向上検討への参画団体数 4団体以上 ・府内水素ステーション整備数 5箇所 これら複合的な目標を設定していることから、1つの定量的な指標は設定できない		(実績) (コスト分析結果) (コスト分析結果)	-目標に達しなかった場合の改善方策
	コスト分析	(事業期間) H27 ~ H29 (指標) H24(フルコスト) 千円 / (分析単位) = 千円 H25(フルコスト) 千円 / (分析単位) = 千円			
	特記事項	<事業優先性や事業選択の判断に影響を与えるような事情が新たに発生した場合に記載>			